

2019 年度日本フェンシング協会公認審判員認定試験結果

公益社団法人日本フェンシング協会
審判委員会

「第 74 回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体 2019」において、認定試験を実施し下記の通り認定しました。

池田順子（大分県フェンシング協会）	フルーレ A 級
田代大幸（福島県フェンシング協会）	フルーレ B 級、サーブル B 級
廣瀬 新（早稲田大学）	フルーレ B 級

公益社団法人日本フェンシング協会審判員規定では、A 級は B 級認定から 2 年以上経過後、過去 2 年間の審判実績を審査し認定することを規定しています。池田順子氏は、特にジャッジの正確さ、スピーディかつ無駄のない試合進行、選手及びベンチコントロール、ルールに関する熟知度など、全てにおいて高いレベルに達しており、今回 4 年ぶりの A 級合格者となりました。また田代大幸氏、廣瀬 新氏の 2 名は、P 級認定後の 2 年間の審判実績をもとに審査の結果、B 級レベルに達していると判断し、今回 P 級から B 級に認定しました。

今年度開催する中央審判講習会及び審判試験の詳細は、今後協会 HP に掲載する予定です。審判委員会は、審判員の発掘・育成を最重要課題と考えています。審判に興味のある方、国際審判員を目指す方は下記連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先

審判委員会委員長 甲斐正彦

E-mail : kai.masahiko@fencing-jpn.jp